

第 41 回 愛知県鍼灸研修会 参加報告

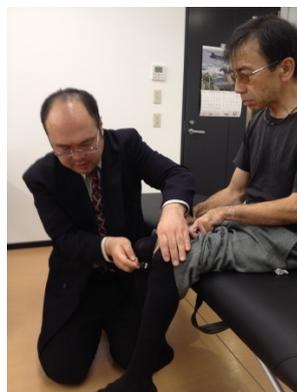
平成 27 年 1 月 18 日（日）、今年初の愛知県鍼灸研修会が名古屋医健専門学校で開催されました。参加者は、24 名。第一講義は、本会の若手会員で、國分 俊明先生による「臨床研徒手検査の実際」、第二講義は、（社）日本・中医保健医学会 中医教授の西川 修先生による「第 2 回 中医薬膳セミナー」でした。以下、講義内容を簡単に紹介します。

「臨床研による徒手検査の実際」

第一講義は、國分 俊明先生が参加された平成 25 年度（公社）日本鍼灸鍼灸師会 臨床研での内容を中心に解説していただいたもの。パワーポイントを用いてのお話は、「鍼灸臨床研修会の目的」から始まり「症例報告（頸椎症性神経根症）とその対応」「腰痛・坐骨神経痛」「頸・上肢痛」「五十肩」「膝関節痛」各症状の検査法と続けました。実技では、膝蓋腱反射、バビンスキー反射（変法を含む）、上下肢・触覚障害と胸椎・圧迫骨折そして膝蓋跳動の各検査を打鍵器と刷毛、徒手を用いて平易に説明。最後に内膝眼穴へ寸三 1 番鍼（ステンレス）での刺鍼を披露していただきました。

徒手検査法は、臨床において整形外科疾患の病態把握や経過観察などに必要不可欠な技術ですが、その基本を学ぶ機会が少ないというのが現状です。國分先生には、臨床研で学習してきたテクニックをわかり易く伝えていただきました。鍼灸師が身に付ける基本的スキル「徒手検査法」。これからもこうした講座が度々開催されることを望んでいます。

会員の先生方！「日本鍼灸師会 臨床研」（毎年 9 月開催）へ積極的にご参加ください。



「第2回 中医薬膳セミナー」

第二講義は、昨年9月●日の「第1回 セミナー」の続編。西川先生は、人の体質を

- ① 「気虚型」 ② 「血虚型」 ③ 「陰虚型」 ④ 「陽虚型」 ⑤ 「気滞型」
⑥ 「瘀血型」 ⑦ 「痰湿型」 の7つに分け（臨床上、陽虚は扱わない）

それに対応する薬膳を紹介されました。氏の関西弁交じりの語りは、テンポが良く、時々ジョークも加わり、楽しい講義となりました。また、体質を以下のように車のエンジン類に例えたのもユニークな発想です。

- ① 「気虚型」・・・ガソリン不足
② 「血虚型」・・・ガソリン質不良
③ 「陰虚型」・・・オイル・ラジエター不良
④ 「陽虚型」・・・(ー)
⑤ 「気滞型」・・・ガソリン爆発不良（燃焼不良）
⑥ 「瘀血型」・・・ガソリン・パイプ不良
⑦ 「痰湿型」・・・エンジン不整備

次に体質による飲食の禁宜や摂取する食物についてもお話されました。

(配布資料から抜粋)

- 1 気虚型：生食や生野菜を控える（牛肉、牛乳、鶏肉、栗、米、なつめなど摂取）
- 2 血虚型：有色野菜を摂る（ほうれん草、トマト、にんじん、なつめ、鶏肉など）
- 3 陰虚型：甘酸っぱいもの（大根、イチゴ、リンゴ、バナナ、はちみつ、ゴマなど）
- 4 気滞型：香りのよいもの（ほうれん草、玉ねぎ、大根、ラッキョウ、ニラなど）
- 5 瘀血型：寒涼食材は避ける（ニラ、にんにく、生姜、青魚、ナス、ワインなど）
- 6 痰湿型：胃腸の働きを促進する食べ物（生姜、黒豆、大豆、白菜、ユズなど）

臨床鍼灸師が体質を見極め それに沿った食事指導ができるということは、治療の質を大いに上げます。また患者さんの喜びも大です。しっかりと勉強したいですね。

以下、西川先生の著書を紹介しておきますので参考にしてください。（学術部 村田）

- ・ 中医薬膳博展 (10,000 円)
- ・ 中医食薬大全 (12,000 円)
- ・ 中薬大全 102 選 (12,000 円)
- ・ 体質対応レシピ集 (5,000 円)
- ・ 生薬・食材機能便覧 (1,500 円)
- ・ 体質対応治療マニュアル (2,000 円)

(社) 日本・中医保健医学会：<http://n-kenkou21.com/>

